

普及現地情報



発信年月日：令和5年（2023年）8月21日
所 属 名：高島農産普及課
番 号：H23007
部 門 分 類：430 地域・農村計画
発 信 者 名：中橋、三木、小嶋、奥田、松尾

農地の集積・集約に向けた担い手意見交換会を開催

7月19、21、24日に、安曇川地域、マキノ北部地域、新旭地域の担い手意見交換会を開催しました。担い手の参加は3地域で23名、4～5名のグループに分かれ、農地の集積・集約の課題と解決策をテーマに意見交換を行いました。関係機関は、市、JA、土地改良区および当課で延べ36名が出席し、進行役として話し合いをサポートしました。

安曇川・新旭地域では、集落をまたがって耕作する担い手が多く、出作先での集積・集約が課題となりました。農地交換のための仕組みづくりや小作料の統一などについて話し合い、農地の集積・集約に向けた意見交換が行われました。

マキノ北部地域では、少ない担い手に農地が集積し、作業が行き届かない現状が課題となりました。さらに農地の集積がすすむとほ場の管理ができない、地主と担い手の間を調整する仕組みが必要といった、農地を持続的に耕作していくための意見が出されました。

終了後のアンケートでは、「若い担い手が希望を持てる農地の仕組みが必要」、「さらに地域を絞って具体的に実施してほしい」、「次世代への継承や担い手確保の仕組みづくり」などの意見があり、参加した担い手全員が今後も継続した話し合いが必要との回答でした。

当課では、担い手の意向を把握し、関係機関と連携しながら効率的かつ安定的な経営体制の確立に向け、担い手への農地の集積・集約を支援していきます。



地図を見ながら農地の集積・集約について熱心に話し合う担い手